

# 平成 29 年度 社会福祉法人岡垣町社会福祉協議会事業報告

## ～ 岡垣町民でつくる福祉のまちをめざして ～

### 事業概要

今日、急激な少子高齢化の進展や社会経済の変化の中で、核家族化や住民相互の社会的つながりの希薄化により、人々の生活の基盤である地域社会の環境が大きく変容しています。ひとりの暮らし高齢者や生活困窮者の増加にともなう地域の福祉課題や生活課題は多種多様化し、法律や制度に基づく公的なサービスだけでは対応が困難な場合も多く、地域における見守り活動や、支えあい体制の構築、そして隣近所や自治区等の「絆」の再構築が課題になっています。

こうした社会情勢の中で、国はたとえ高齢になっても、障がいがあっても、できる限り住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう地域包括ケアシステムなどの基盤を整備し、地域での自立支援や「施設・病院完結型」から「地域完結型」への移行が進められています。

このような状況の中、地域福祉を推進する中核的な役割を担う社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、中・長期の展望に立った地域福祉活動を展開するため、第3次地域福祉活動計画に基づく事業の展開と、第3次地域福祉活動計画の基本理念である「岡垣町民でつくる福祉のまちをめざして」の将来像を具現化、補足・補完する「岡垣町民でつくる福祉のまちづくり計画」に基づく事業を実施しました。

近年の介護保険制度を中心とした法律や制度の改正と岡垣町の現状を重ねてみると、高齢者や障がい者、子どもなど異なる領域を「地域」の視点で捉え、住民相互の助け合いによる“互助”の取り組みと公的な福祉サービスとの連携・協働がより一層重要となります。今年度、岡垣町の「地域福祉計画」と社協の「地域福祉活動計画」の一体的な策定が完了しました。

また、お互いさま命のネットワークによる見守り活動、ご近所助け合い体制による日常生活支援の取り組みや死後事務委任契約による個別支援サービス等、時代の要請に対応した事業展開を図り、住民や行政、関係機関・団体、ボランティア等と相互に連携し、地域福祉を推進しました。

介護保険法や障害者総合支援法に対する取り組みについては、居宅介護支援事業、訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問型サービス（訪問型サービスⅠ・Ⅱ・Ⅲ及び福岡県介護保険広域連合訪問型サービスA）を運営するとともに、職員の資質向上のための研修の実施や他団体の研修等への参加など、利用者本位の福祉サービスの提供に努め、高齢者や障がい者が自立した生活ができるように支援しました。

### 基本理念

社協が取り組むべき事業を明確にし、各種団体や地域住民が行う活動への支援や協力体制を強化することにより、地域住民が主体性をもち、自らが地域福祉の担い手として参加できる地域づくりによって、「岡垣町民でつくる福祉のまちをめざして」の実現に努めました。

### ☆ 基本目標

1. ひとつづくり～ふれあい、思いやりの意識を育ぶ～
2. 地域づくり～見守りあいや支えあいの関係を築く～
3. 環境づくり～福祉サービスを活かし、地域で自立して暮らす～
4. 支援体制づくり～協働と連携で地域を支える～

## ☆ 地域福祉を進めるための取り組み

### 1. ひとつづくり ～ふれあい、思いやりの意識を育む～

住民による自主的な活動が、それぞれの地域の実情に合った活動へと結びつくように、子どもから高齢者まで、一人でも多くの住民が地域福祉に関心を持てるような取り組みや情報発信に努めました。また、「自らが地域づくりの担い手である」という意識を育むとともに、地域で核となる人材の育成に努めました。

#### (1) 福祉教育の充実

子どもから高齢者まで、一人でも多くの住民が自分の暮らす地域に関心をもち、お互いの存在を認めあい、ふれあいや思いやりの意識を育むことで、具体的な地域福祉活動への参加を促進することを目的として、福祉教育の充実を図りました。

##### ①福祉体験講座

他人への思いやりや、やさしい心を育むことを目的として、小・中学校等と連携し、福祉教育を実施しました。

○福祉体験講座（車いす体験、アイマスク体験等）

岡垣中学校1年生 1回／参加者 150人

海老津小学校4年生 2回／参加者 延206人

内浦小学校4年生 1回／参加者 16人

吉木小学校4年生 1回／参加者 45人

○福祉教育読本「ともに生きる」配布

町内小学5年生を対象に、福祉を身近なものとしてとらえ、ともに生きる大切さを学習するための副読本として配布しました。（福岡県社協作成） 配布数 323冊

##### ②認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、地域でサポートができる人材づくりの講座を、行政と協働し中学生を対象に開催しました。

平成30年3月15日 岡垣中学校1年生（教師含む） 参加者 150人

##### ③認知症ケア地域推進事業

認知症を正しく理解し、認知症になった人を地域全体で見守る体制づくりが必要とされています。商店や学校等での認知症サポーター養成講座の実施や、お互いさま命のネットワーク活動で認知症になっても住み続けられる地域づくりの構築を推進するため、行政等と協議しました。

#### (2) 地域人材の育成

今年度から新たに町から受託した「生活支援体制整備事業」の中で、住民や民生委員・児童委員、事業所等が集まって意見を出し合う「話し合いの場」を開始したことから、昨年度までの講座の要素を話し合いの場に包含して開催しました。（※実績は生活支援体制整備事業を参照）

#### (3) ボランティア活動の推進

一人でも多くの住民がボランティア活動に参加できるよう、若い世代がボランティア活動に関心をもつきっかけづくりや、団塊の世代がこれまで培ってきた知識や経験を活かして活躍できる環境づくりに努めました。

##### ①福祉ボランティアの拠点機能の充実

岡垣町社会福祉協議会ボランティアセンターとして、岡垣町ボランティア連絡協議会等と協力し、福祉ボランティア活動を支援しました。

##### ②ボランティアへの支援

社協に登録している福祉ボランティア19団体に対し、岡垣町ボランティア育成・支援事業補助金交付規則（岡垣町）に基づき補助金を交付するとともに、福祉ボランティア活動を

支援しました。

○中間・遠賀地区社会福祉協議会連絡協議会ボランティア研修会  
平成30年1月27日 中間市 中央公民館 参加者 18人  
講演 「ボランティア活動における課題と今後の取組について」  
講師 筑紫学園大学 教授 山崎 安則 氏

○ボラ協だよりの発行  
年8回（全戸配布） 110, 400部（全戸配布13, 800部）  
○ふくおか“きずな”フェスティバル  
平成30年2月18日 春日市 クローバープラザ 参加者 18人  
講演 「幸せな社会づくりを考える」  
講師 京都大学大学院教授 明和 正子 氏  
分科会 高齢者「健康・生きがいづくりや認知症俳諧ネットワークの取組」  
リーダー 高齢者社会をよくする北九州女性の会 富安 兆子 氏  
(事例発表/直方市、赤村)

③ボランティアの養成  
町が平成28年10月から新たなボランティア活動の創設としてボランティアポイント制度を導入しました。社協がボランティアポイント制度の運営の一部を受託しました。  
ボランティアポイント登録者研修  
岡垣町から受託している岡垣町福祉ボランティアポイントについて、登録者向けの研修及  
を行いました。

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
研修回数	3	3	3	3	3	3	3	3	1	3	3	3	34
受講者数	18	3	9	2	0	1	0	3	2	8	2	6	54

#### ④ボランティアリーダーの養成・支援

地域福祉の推進においてボランティアの必要性が高まっており、会員の意思の疎通を図り中心となって活動するリーダーの支援をしました。

#### 2. 地域づくり ～見守りあいや支えあいの関係を築く～

地域福祉を進めていくために、身近な地域において、日頃から見守りあいや支えあい等、住民同士の「絆」を築くことが大切です。誰もが安心して住み慣れた地域で暮らせることが出来るように、住民の福祉活動への主体的な参加を促進しました。

#### (1) セーフティネットの推進・支援

社協は、各自治区を単位とした見守り・支えあい活動を推進するとともに、行政や関係機関・団体間の連携強化を図り、各自治区のセーフティネットを町内全域へ広げるための支援に取り組みました。

#### ①町内全域へお互いさま命のネットワークの推進

お互いさま命のネットワークを取り組んでいない地区に、活動内容等の説明等を実施しました。

#### ②お互いさま命のネットワークの活動への支援

○お互いさま命のネットワーク活動助成金交付  
お互いさま命のネットワーク活動地区に対し、活動についての相談、情報提供や活動助成金を交付し支援しました。また、関係機関・団体、事業所等と連携することにより、重層的な高齢者等の見守りのネットワーク活動に取り組みました。

活動助成金交付地区： 52地区

湯川区、波津区、原区、内浦区、手野区、新松原区、三吉団地区、三吉区、吉木区、高塚区、高倉区、上高倉区、元松原区、西黒山区、東黒山区、糠塚区、山田区、山田峠区、西山田区、東山田区、南山田区、茅原区、緑ヶ丘区、高尾区、旭西区、旭中区、旭東区、旭南区、東松原区、高陽区、百合ヶ丘区、鍋田区、西高陽区、東高陽区、南高陽区、戸切区、戸切百合野区、戸切白谷区、上海老津区、東海老津区、新海老津区、海老津区、野間一區、野間二區、野間三區、野間四區、塚原区、松ヶ台西区、松ヶ台東区、公園通り中区、公園通り西区、龍王団地区

### ③お互いさま命のネットワーク委員会の設置

お互いさま命のネットワーク活動に関する福祉課題・生活課題の調査・研究、関係機関や自治区相互の情報交換、交流、研修等を行うとともに、社会資源等を活用し、自治区における福祉活動を促進することを目的に、関係機関・団体、事業所代表者で組織するお互いさま命のネットワーク委員会を設置しています。

### ④災害時の活動支援

災害時要援護者避難支援プラン全体計画に基づき、要援護者一人ひとりの具体的な支援内容を定める「個別計画」策定に向けて支援しました。

また、大規模災害に対し、適切に対応していくため、人的支援・物的支援の受け入れを円滑に行うための体制づくりの一環として、公益社団法人ひびき青年会議所と災害時相互協力協定を締結しました。

### ⑤ご近所助け合いモデル事業

今年度から新たに町から受託した「生活支援体制整備事業」の中で、住民や民生委員・児童委員、事業所等が集まって意見を出し合う「話し合いの場」を開始したことから、昨年度までの講座の要素を話し合いの場に包含着して開催しました。（※実績は生活支援体制整備事業を参照）

### ⑥生活支援体制整備事業（町受託事業）

岡垣町から生活支援体制整備事業を受託し、地域の資源開発やネットワーク構築、ニーズと取り組みのマッチング等を目的とした「生活支援コーディネーター」を2名配置しました。また、地域での助け合いや支え合いについて、自由に意見を交換しながらアイデアを出し合い、それらを具体的に実現するための「話し合いの場」を開始し、町と連携して運営を行いました。

#### 「話し合いの場」

○第1回 平成29年5月27日

テーマ「なぜ『話し合いの場』を始めるのか・助け合いのこれからの考えを」

参加者 48人（地域住民26人、民生委員・児童委員9人、事業所13人）

○第2回 平成29年7月8日

テーマ「“ちょっとした手助け”の現状と必要な取り組みを考える」

参加者 71人（地域住民27人、民生委員・児童委員20人、事業所24人）

○第3回 平成29年9月2日

テーマ「介護サービスのすき間から“ちょっとした手助け”を考える」

参加者 46人（地域住民12人、民生委員・児童委員17人、事業所17人）

○第4回 平成29年11月18日

テーマ「モデルサロン企画『〇〇町の〇〇サロン』」

参加者 37人（地域住民10人、民生委員・児童委員10人、事業所17人）

○第5回 平成30年1月27日

テーマ「事業所との協力によるサロン企画」

参加者 48人（地域住民18人、民生委員・児童委員15人、事業所15人）

○第6回 平成30年3月10日  
テーマ「事業所との協力によるサロン企画2・平成30年度の取り組み」  
参加者 41人（地域住民16人、民生委員・児童委員12人、事業所13人）

(2) ふれあい交流活動の促進

高齢になっても障がいがあっても、誰もが尊厳を保ち、自立した生活を送ることができるよう、住民同士のふれあい交流を促進しました。

①ふれあいサロンの活動の促進・支援

地域での連帯感の希薄化や心身の機能の低下により、ひとりの暮らし高齢者や高齢者のみでの世帯が地域で孤立しがちとなっており、各自治区単位でのふれあいサロンの活動を民生委員・児童委員等の関係者と協力して推進しました。また、活動している自治区に対しては、職員の派遣やふれあいサロンの活動助成金を交付し活動を支援しました。

ふれあいサロンの活動地区：43地区

波津区、内浦区、手野区、新松原区、三吉団地区、高塚区、高倉区、上高倉区、西黒山区、東黒山区、山田区、山田峠区、西山田区、東山田区、南山田区、茅原区、緑ヶ丘区、高尾区、旭西区、旭中区、旭東区、東松原区、高陽区、百合ヶ丘区、鍋田区、西高陽区、東高陽区、南高陽区、戸切区、戸切百合野区、戸切白谷区、東海老津区、新海老津区、野間一区、野間二区、野間三区、野間四区、塚原区、松ヶ台西区、松ヶ台東区、公園通り中区、公園通り西区、龍王団地区

②子育て支援の推進

お互いさま命のネットワークやふれあいサロンの活動の中で、子育て支援も含んだ活動を進めました。

③関係団体との連携によるふれあい交流事業

○ひとりの暮らし高齢者のつどい ゆかいな果樹園（岡垣町）

75歳以上のひとりの暮らしの人の社会参加の促進とふれあい交流を目的に、岡垣町民生委員児童委員協議会（以下「民児協」という。）等の協力のもと、ひとりの暮らし高齢者のつどいを開催しました。

平成29年10月30日 山田校区、戸切校区

参加者 133人 総数 167人

平成29年11月6日 内浦校区、吉木校区、海老津校区

参加者 154人 総数 186人

○在宅介護者のつどい いこいの里

在宅介護者の心身のリフレッシュ、情報交換、ふれあい交流、こまねびの会会員の増員を目的に、在宅介護者のつどいをいこいの里で開催しました。

平成29年11月8日 参加者 20人

○障がい者ふれあい交流事業（納涼夏まつり、クリスマス交流会）

納涼夏まつり いこいの里

町内在住の障がい児・者の社会参加の促進と福祉ボランティアとのふれあい交流を目的に、障がい者団体、福祉ボランティア団体から実行委員を選出いただき、実行委員会形式で納涼夏まつりを開催しました。

平成29年8月26日 参加者 419人

障がい者クリスマス交流会（障がい児含む） いこいの里

障がい児・者の社会参加の促進とふれあい交流を目的に、障がい者団体、福祉ボランティア団体から実行委員を選出いただき、実行委員会形式で障がい者クリスマス交流会を開催しました。なお、今年度から初めて九州共立大学・九州女子大学の学生が参加しました。

平成29年12月10日 参加者 60人 総数 115人

○おもちゃ図書館

障がいのある子どもや親が自由に楽しく遊ぶ場、また、同じ悩みを持つ家族が語り合える場として、おもちや図書館ボランティアだんぽの会の協力により、毎月第2・4土曜日及び毎週木曜日（第1・3木曜日3歳までの乳幼児に一般開放）に開催しました。

開館日 6月7日（うち一般開放22日）

利用者数

障がい者（児）：142人（延）・乳幼児等：132人（延）

家族等：164人（延）・見学等：84人（延）

○男性料理教室 いこいの里

60歳以上の男性を対象に高齢者の健康維持の増進と参加者同士のふれあい交流を目的に、岡垣町食生活改善推進会の協力のもと男性料理教室を開催しました。

第1回 平成29年10月12日 参加者 14人 総数 20人

第2回 平成29年10月19日 参加者 14人 総数 20人

第3回 平成29年10月26日 参加者 10人 総数 16人

○囲碁・将棋大会 いこいの里

高齢者のふれあい交流、また異世代間での交流を目的に棋友会及び囲碁・将棋の会の協力のもと開催しました。

平成30年2月18日 参加者34名

（小学生2名、一般参加2名、棋友会、囲碁・将棋の会30名）

### 3. 環境づくり ～サービスを活かし、地域で自立して暮らす～

介護保険法や障害者総合支援法等において提供するサービスの質の向上や利用援助の充実を図るとともに、現行の制度内サービスに関する福祉課題の提唱及び制度外の在宅福祉サービスの充実を図りました。また、社会福祉協議会の事業やサービス、地域での取り組みについて、わかりやすい情報提供に努めるとともに、様々な生活課題に関する不安や悩みを受け入れ、適切なサービスへとつなぐ「総合福祉相談窓口」を設置しました。

#### （1）総合的な福祉相談支援体制の整備

社協は、現在の法律や制度で定められた福祉サービスに対する福祉課題や、高齢者の買い物など日常生活上起こり得る生活課題について、地域における困りごとの相談を受け入れ、総合的にコーディネートする体制の構築に取り組みました。

#### ①心配ごと相談・法律相談の充実

地域における困りごとの相談を受け入れ、総合的にコーディネートする体制を構築するた  
めに、職員の資質向上や分かりやすい情報提供に努め、心配ごと相談、法律相談を開催しま  
した。

○心配ごと相談（民生委員・児童委員 12回：毎月1回・東部公民館）

心配ごと相談 7件（平成28年度：1件）

○法律相談（弁護士 18回：奇数月1回偶数月2回・いこいの里）

法律相談 85件（平成28年度：79件）

#### ②総合福祉相談窓口の設置

地域における困りごとの相談を受け入れ、総合的にコーディネートする体制を構築するた  
めに、国や県、町の動向を把握し、法令や制度を網羅したてびきを活用し、すべての職員が  
対応できるように、職員間の情報共有に努めました。

○総合福祉相談窓口（民生委員・児童委員 24回：毎月2回・いこいの里）

総合福祉相談 2件（平成28年度5件）

#### （2）在宅福祉サービス事業の充実

介護保険法や障害者総合支援法において提供するサービスの質の向上や利用援助の充実を  
図るとともに、現行の制度内サービスに関する福祉課題の提唱及び制度外の在宅福祉サービ

又の充実を図りました。

①居宅介護等事業

介護保険制度において、要介護等と認定された高齢者や障害者総合支援法における障害支援区分の判定を受けた利用者に対して、質の高いサービスを提供を行うため、職員を対象とした研修会の開催や資格取得のための勉強会などを積極的に行いました。

訪問介護事業では、延利用者数が入院入所等により減少したことに伴って、収入が減少し事業に移行したため大幅に利用者数が増減しています。

居宅介護支援事業については、入院入所等による利用者数の減少、要介護認定において要支援1・2へと認定された利用者が増えたため、収入が減少しました。

収入 居宅介護支援事業 10,335,460円 (平成28年度：10,515,090円)  
訪問介護等事業 36,265,646円 (平成28年度：40,506,131円)

《介護保険事業利用状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H28
訪問介護事業	55	58	59	58	62	62	57	54	54	49	55	46	669	710
介護予防	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	470
介護予防・日常生活支援総合事業 第一号訪問型サービス	48	49	50	51	49	56	58	63	64	61	61	61	671	326
居宅介護支援事業	52	58	56	58	64	64	61	54	55	57	60	60	699	784
介護予防支援事業	32	33	33	38	34	34	33	34	38	37	37	40	423	381
総合事業者	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	15	9
延利用者数	196	199	199	206	210	217	210	206	212	206	215	208	2,484	2,680

②障がい者の自立に関する取り組み

居宅介護・重度訪問介護事業では、障がいのある人等がその有する能力に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように訪問介護員（ホームヘルパー）が入浴、排せつ、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行います。同行援護事業では、常にサービスを提供できる体制を整えています。

《障害者総合支援法に基づく居宅介護等事業利用状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H28
居宅介護等事業（障がい者）	10	10	9	10	10	7	7	6	7	6	9	8	99	101
地域生活支援事業（障がい者）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	6

※同行援護事業：実績はありません。

③短期訪問介護事業

介護保険制度で自立と認定された人や介護保険制度外での支援が必要な人等へ訪問介護サービス（ホームヘルプサービス）を実施しました。

《短期訪問介護事業》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H28
短期訪問介護事業	13	12	19	11	16	10	16	16	22	20	11	13	179	108

④送迎サービス事業

低所得で車いすや常時つえが必要な高齢者や障がい者の福祉向上及び社会参加の促進・支援として、送迎ボランティアの協力のもと送迎サービス事業を実施しました。

送迎サービス研修会 いこいの里

平成29年10月7日 参加者 22人

送迎サービス事業を支援するボランティアが、安全に安心して活動できるように、送迎サービス研修会を開催しました。

《送迎サービス利用状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H28
送迎回数	40	37	42	42	42	40	39	45	42	42	42	41	494	586
ボランティア活動人員 (延)	58	46	51	52	55	48	45	52	55	48	55	53	618	726

⑤入浴サービス事業

在宅の寝たきり高齢者で介護保険サービスを利用することが困難な方を対象に、介護老人福祉施設「恵の家」への業務委託により、入浴サービス事業を実施しました。

《入浴サービス利用状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H28
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0

⑥福祉機器貸与事業

福祉機器を貸与することで、在宅の高齢者や障がい者等に日常生活の利便性の向上が図れるように支援しました。

《福祉機器貸与延台数》 延 161台

車いす	99台	ベッド	15台	歩行器(車)	20台
ポータブルトイレ	13台	シャワー椅子 シャワーキャリー	2台	浴槽手すり	0台
入浴用踏み台	3台	エアマット	0台	オーバートーブル	9台

⑦福祉車両貸与事業

高齢や障がい等のため車いすを使用しなければ外出ができない人等の福祉の増進を図るため、社協所有の福祉車両(車いす対応)の貸与事業を実施しました。

9回 (平成28年度:9回)

⑧コミュニティ車両貸与事業

ボランティア活動や地域コミュニティ活動を支援するため、軽トラックの貸与事業を実施しました。

4地区・2団体 20回 (平成28年度:3地区・3団体:20回)

⑨配食サービス事業(町受託事業)

調理・配食ボランティアやシルバー人材センター等への業務委託により、週5回(火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日)の256日配食サービスの事業を実施しました。

《配食サービス利用状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H28
配食日数	21	22	22	21	22	22	21	22	20	20	20	23	256	256
配食数	2,137	2,182	2,234	2,180	2,239	2,317	2,163	2,162	1,938	1,854	1,776	2,119	25,301	26,373
平均配食数	102	99	102	104	102	105	103	98	97	93	89	92	99	103

⑩地域介護予防活動支援事業（町受託事業）

地域におけるネットワークの構築や、介護予防の知識や方法を地域に普及する人材の育成事業と介護予防に資する地域組織（サロンや認知症カフェ等）の支援等を実施しました。

16地区44回 参加者延人数 1,025人

（平成28年度：17地区2団体52回 参加者延人数 1,130人）

認知症カフェ運営支援（オンラインカフェ天狗屋、オンラインカフェひなたぼっこ）

9回 参加者延人数 187人

⑪手話通訳者派遣事業（町受託事業）

聴覚障がい者、音声・言語障がい者の日常生活や社会生活におけるコミュニケーションを支援するために、手話通訳者を派遣しました。

《コミュニケーション支援状況》

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	H28
利用者数	1	4	3	8	6	6	7	4	4	3	2	4	52	51
派遣者数	1	4	3	8	6	6	7	4	4	3	2	5	53	50

⑫日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

福岡県社協が実施している日常生活自立支援事業を支援するため、日常生活自立支援事業の制度を社協だよりに掲載するとともに関係機関へ周知し、制度の普及に努めました。

日常生活自立支援事業契約者 17人（支援件数延193件）

（平成28年度：10人 支援件数延92件）

⑬生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

景気低迷が原因による離職者や母子世帯等で生活に困難している方の相談と貸付要件に該当している場合は、生活福祉資金の貸付により、低所得者の自立更生の支援をしました。

相談件数：20件（平成28年度：40件）

貸付件数：14件（平成28年度：23件）

◎緊急小口資金：6件 497,000円

内訳（生保支給までのつなぎ：5件、その他：1件）

◎総合支援資金：1件 218,000円

内訳（一時生活再建費：1件）

◎教育支援資金：3件 4,951,000円

内訳（教育支援費：3件、就学支度費：3件）

◎福祉資金：4件 764,000円

内訳（福祉費：4件生活必需品等）

⑭法人成年後見事業の取り組みの検討

日常生活自立支援事業の支援で関わりのある社協が引き続き成年後見人等になることで、判断能力が不十分な方から著しく不十分になった方まで、安心と信頼に基づき支援を実施できるように検討しました。

家事関係機関連絡会

平成29年12月13日 福岡地方裁判所小倉支部

⑮ずっと安心プラン事業

高齢者や障がい者などが安心して生活できるよう、社協が事前に預託金を預かり、葬儀・家財処分などのサービスや定期的な見守りサービス・かき預りサービス・入退院時等の支援を行うずっと安心プラン事業を実施しました。また、終活に関する専門相談窓口の設置、終活セミナー開催など本事業PRIに取り組みました。

ずっと安心プラン事業契約者1人、契約手続き中1人

相談件数延べ 48 件

終活セミナー（全3講座） いこいの里

講師 終活パートナー九州 真武 純哉 氏

第1回 平成29年7月20日

テーマ 「終活のすすめ」

第2回 平成29年8月17日

テーマ 「葬儀・お墓・エンディングノート」

第3回 平成29年9月21日

テーマ 「遺言・相続・死後事務委任契約」 参加者70人

ずっと安心プラン事業視察受入

平成29年4月21日 いこいの里

西伊予市包括支援センター、社会福祉協議会職員（愛媛県）

その他

南山田区ふれあいサロン「住まいの終活〜ずっと安心プラン〜」

#### ⑩あんしんの灯台（あかり）事業の取り組みの検討

在宅で生活する高齢者や障がい者、子ども等の日常生活の安心を確保し、特に夜間の不安を解消するために、町内の医療機関・福祉施設等 24 時間体制の機関と連携し、24 時間 365 日、5 分以内に自宅への訪問や連絡が取れる地域型サービスについて検討しました。

#### ⑪介護予防・日常生活支援総合事業の検討

平成 28・29 年度に地域福祉活動計画と地域福祉計画を一体的に策定していますので、行政と連携して介護予防や生活支援のサポーターの養成やお互いさま命のネットワーク活動と連動し、地域を拠点とした柔軟な取り組みができるよう検討しました。

#### （3）広報・啓発活動の充実

社協の認知度を高めるとともに、ボランティア活動や地域福祉活動への理解と協力を呼びかけ、住民が必要な情報を必要な時に得られるよう、細やかな情報提供に努めました。また、広報広聴委員会を設置し、第三者の意見を取り入れることで、社協だよりの紙面の充実や必要な情報がいつでも閲覧できるようなホームページの充実を図りました。

#### ①広報広聴委員会の設置

広報広聴委員会の意見聴取を行うことで、社協だよりの紙面の充実を図りました。

#### ②社協だよりの充実

社協の広報紙社協だよりを町内全戸に配布し、社協の事業や地域の福祉活動等の記事を掲載し、事業の普及・啓発に努めました。

発行総部数 110、400部(8回)/5.7.9.10.11.1.2.3月:全戸配布13,800部)

#### ○広報広聴委員会

住民の情報の共有化による地域福祉の浸透及び住民意思の反映の推進と、広報広聴業務の円滑かつ適正な処理を行うことを目的に広報広聴委員会を設置し、社協だよりの編集方針と社協だよりの年間計画を策定しました。

#### ③社会福祉協議会ホームページの充実

社会福祉協議会の活動内容やいこいの里入浴施設のPR等、掲載内容の充実を図るとともに常に新しい情報を公開するように努めました。

#### 4. 支援体制づくり ～協働と連携で地域を支える～

社協や行政、関係機関・団体、そして住民が、多様化する地域の生活課題等に対応するために、相互に補完し合う支援体制づくりに取り組みました。

#### （1）行政、関係機関・団体との連携

多様化する地域の生活課題等に対応するために、行政や関係機関・団体と社協が協働・連

携し、相互に補完し合う支援体制づくりに取り組みました。

#### ①関係団体との連携強化

障がい者の福祉団体等との連携を図り、地域福祉を推進するため、団体の自主的な活動への支援や助成金を交付するとともに、団体等と連携して会員増員の支援に取り組みました。

#### ○活動等助成金交付

活動が円滑に実施できるように、福祉団体や協力団体へ助成金を交付しました。

#### 《助成金交付団体》 12団体

岡垣町自治区長会、岡垣町食生活改善推進会、岡垣町戦没者遺族会、岡垣町婦人会、遠賀保護司会岡垣分区、岡垣町民生委員児童委員協議会、岡垣町寿会連合会、岡垣町在宅介護者の会「こもれびの会」、岡垣町身体障害者福祉協会、岡垣町手をつなぐ親の会、社会福祉法人はまゆう福祉会岡垣支部、岡垣町母子寡婦福祉会

#### ②社会福祉協議会・行政との定期連絡会の充実

新規事業の取り組みに関することや情報交換、町行政施策との整合を図るとともに、連絡調整会議を開催しました。

#### ③岡垣町民生委員児童委員協議会との連携強化

社協と民児協とは、地域福祉を展開していく上で協力が不可欠であり、民児協との連携を強化するため、社協が民児協の事務局を担い支援しました。

#### ④地域包括支援センターとの連携

認知症高齢者やひと暮らし高齢者、高齢者のみの世帯が孤立することなく、いつまでも地域で安心して生活できるように、岡垣町地域包括支援センターと連携を図りました。

#### (2) 信頼される社会福祉協議会づくり

職員一人ひとりが資質及び専門性の向上に努め、法令の遵守や説明責任を果たし、住民から信頼される職員となるように努めました。また、社協は地域の様々な団体から住民の代表として理事・監事・評議員が選出され、共に地域福祉を推進していることから、役員体制の強化に努め、法人全体として信頼される社協づくりに努めました。

#### ①活動財源の確保

社協の活動財源である寄附金、共同募金配分金及び自動販売機手数料等、自主財源確保に努めました。また、社会福祉法人に対する寄附金や共同募金の税制優遇措置について啓発し、寄附金等の財源確保に努めました。

#### ②共同募金運動の推進

共同募金会岡垣町支会と連携、協力し、街頭啓発や共同募金運動の推進に努めました。

募金実績 共同募金 5,698,387円 (平成28年度5,687,176円)

歳末募金 491,000円 (平成28年度486,400円)

#### ③社会福祉協議会役員体制の強化

社協の運営強化、役員等への情報提供の強化を図るとともに、研修会等へ参加していただきました。

#### ○市区町村社会福祉協議会社会福祉法人制度改革セミナー 大野城市 大野城まどかびあ

平成29年8月30日 参加者 16人

講演 「評議員・理事の役割と、期待される社協になるために」

講師 上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 准教授 藤井 賢一郎 氏

#### ○福岡県社会福祉大会 春日市 クローバープラザ

平成29年10月25日 参加者 7人

講演 「地域緑が育む～一人ひとりが輝いて暮らせる地域社会をめざして～」

講師 NHK 解説委員 後藤 千恵 氏

#### ④社会福祉協議会事務局体制の強化

職員の資質の向上や業務量に応じた適切な職員の配置など、より一層の事務局体制の強化

を図るとともに、多様な福祉ニーズに対応できるように、職員の自主的な勉強会や情報交換会を開催しました。

○筑豊アフリカ市町村社協連絡協議会研修会 宮若市 社会福祉センター

平成29年12月21日 参加者 2人

講演 「無期転換ルールと導入のポイント」

講師 山本社会保険労務士事務所Bオフィス 代表 山本 弘之 氏

○社協職員研修会（毎月：原則第2・4木曜日）

国・県・町の福祉関係の動向を把握し、社協の事業展開を迅速かつ効果的に行うため、職員の資質向上を図ることを目的として職員研修会を開催しました。

⑤指定管理者としての受託事業の取り組み

いこいの里で福祉事業の実施や社協だより、社協ホームページ等により啓発し、施設の利用者の増員と利用率の向上に努めました。

いこいの里ふれあい館入浴施設については、自治区で実施しているふれあいサロン等を入浴施設で開催して頂くとともに、毎月のイベントの他にスポットイベント等を実施しました。

《いこいの里施設利用状況》

区分 \ 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
施設利用者（利用率）	117,752 人 (58.4%)	108,843 人 (61.1%)
ふれあい館利用者 (浴室施設利用者は除く)	26,281 人	24,286 人
浴室施設利用者	39,764 人	39,535 人

## 5. その他の事業

○社協会長表彰 いこいの里

社会福祉の増進に努め、その功績が顕著な人に対して、表彰状及び感謝状を納涼夏まつり開催時に贈呈しました。

平成29年8月26日

被表彰者35人・2団体

社会福祉事業特別功労者2人

民生委員・児童委員特別功労者4人

社会福祉事業協力者29人

特別表彰（寄附）2団体

○助成事業

児童養護施設や要援護児童等に対し、助成金を交付しました。

《活動助成金交付内容》

・児童養護施設報恩母の家（交流会等）

・自転車通学生ヘルメット購入費補助

岡垣中学校40人、岡垣東中学校75人

・修学旅行費補助（要保護・準要保護等の児童・生徒を対象）

岡垣中学校32人、岡垣東中学校22人

内浦小学校2人、吉木小学校4人、海老津小学校16人、

山田小学校15人、戸切小学校2人

・特別支援学級運営費補助

岡垣中学校7人、岡垣東中学校11人

吉木小学校10人、海老津小学校12人、山田小学校17人、戸切小学校1人

- ・通級指導学級「あおぞら」  
海老津小学校延17人

○歳末たすけあい事業

在宅で生活している重度の障がい者（児）や施設入所者に、歳末見舞金を配布しました。また、ひとり暮らし高齢者等八年賀状を送る事業を実施する自治区（要申請）を対象に、年賀はがきを配布しました。

在宅の重度障がい児・者（歳末見舞金） 42人  
 障害者支援施設「希望舎」入所者（歳末見舞金） 50人  
 障害者支援施設「こすもす園」入所者（歳末見舞金） 51人  
 共同生活援助施設「あゆみヶ丘」入所者（歳末見舞金） 28人  
 児童養護施設「報恩母の家」入所者（歳末見舞金） 73人  
 年賀はがきの配布（26自治区） 1, 102枚

6. 各会議開催状況

① 理事会・評議員会開催状況

＜理事会＞

第1回	4月1日	議案第1号	会長の選定について	
		議案第2号	第1回評議員会の開催について	
		議案第3号	評議員選任候補者の推薦について	
第2回	5月31日	議案第4号	第1回評議員選任・解任委員会の開催について	
		議案第5号	平成29年度社会福祉法人岡垣町社会福祉協議会会長表彰及び感謝の対象者の決定について	
		議案第6号	平成28年度事業報告について	
		議案第7号	平成28年度収入支出決算	
		議案第8号	第2回評議員会（定時評議員会）の開催について	
第3回	6月21日	議案第9号	会長、副会長及び常務理事の選定について	
		議案第10号	囃託及び臨時職員就業規程の一部を改正する規程	
		議案第11号	指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程	
		議案第12号	指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程	
第4回	2月21日	議案第13号	指定障害福祉サービス事業所いこいの里ホームヘルパーステーション運営規程の一部を改正する規程	
		議案第14号	平成29年度福祉基金の取り崩しについて	
		議案第15号	平成29年度補正予算（第1号）	
		議案第16号	第3回評議員会の開催について	
		議案第17号	職員給与規程の一部を改正する規程	
第5回	3月23日	議案第18号	平成30年度事業計画について	
		議案第19号	平成30年度福祉基金の取り崩しについて	
		議案第20号	平成30年度予算	
		議案第21号	第4回評議員会の開催について	

<評議員会>

第1回	4月14日	議案第1号	非常勤役員等報酬及び費用弁償規程の制定について
第2回	6月21日	議案第2号	理事の選任について
		議案第3号	監事の選任について
		議案第4号	平成28年度事業報告について
第3回	2月28日	議案第5号	平成28年度収入支出決算
		議案第6号	平成29年度補正予算（第1号）
第4回	3月30日	議案第7号	平成30年度事業計画について
		議案第8号	平成30年度予算